

# 桃山東小学校

平成27年 臨時号  
京都市立桃山東小学校  
校長 野中 哲也

## 学校教育目標

～豊かな未来を切り拓き、夢に向かい、共に生きる子ども～

目ざす子どもの姿

○元気に挨拶する子 ○しっかり勉強する子 ○人を大切にする子 ○きまりを守る子

秋空高く、さわやかな毎日が続いております。日頃は、本校教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。前期に保護者の皆様からいただきました「学校アンケート」について、分析して現状を把握し今後より一層、推進すべき点や改善点に付きまして考察いたしました。限られた紙面ではありますが、ご報告させていただきます。

### 〈学校アンケート(保護者)・児童アンケート・教職員自己評価)結果〉

	項目	保護者 実現度	児童 実現度	教職員 実現度
1	学校生活を楽しむこと	96.4	90.7	100
2	元気な挨拶をすること	73.7	91	77.8
3	人を大切にすること	94.8	83.5	94.5
4	誰とでも協力したり仲良くしたりすること	91.2	95.9	94.5
5	学校や社会のルールを守ること	92.7	92.1	76.5
6	みんなが使う物の後片付けや 自分の身の回りを片付けること	65	94.8	77.8
7	困ったこと・分からないうがあれば 子どもが先生に相談すること	69.6	91.9	83.4
8	お子さんが家で学校での様子を話すこと	76.9	76.5	82.4
9	先生の話をしっかり聞くこと	82.2	78.8	61.1
10	めあてに向かって学習すること	78.9	90.8	94.4
11	学習中、発表したり話し合ったりすることは 楽しいですか		87	
12	学習を楽しみ学習内容を理解すること	85.7	77.6	83.3
13	家庭学習や宿題の習慣を身に付けること	82.5	87.5	81.3
14	読書すること	52.1	86.6	83.3
15	担任に質問や相談すること	60.5		93.8
16	忘れ物をしていませんか		84.9	

\* 実現度は、「よくできている」「大体できている」を合わせた数値です。(%)

学校生活について、多くの子どもたちは楽しく学校に通い、誰とでも協力したり仲良くしたりしていることが分かります。実現度の低い項目もありますが、アンケートにより、自分の行動を振り返り、意識することができたと思います。

保護者アンケート・教職員アンケートについては、実現度の低い項目があります。今後も教育活動の取組内容や方法等について検討を重ね、保護者の皆様の信頼を得ながら努力してまいります。また、学校の取組については、学校だより・学年だより・学校ホームページ等でお伝えし、開かれた学校づくりを目指していきます。

### 〈課題・取組〉

・②『元気な挨拶』では、児童は実現度の高い結果となっていますが、保護者や教職員の実現度が低いという結果を見ると、まだまだ取組を進める必要があると思います。児童会の活動とも連携し、引き続き「朝の挨拶」の取組を進めていきます。地域・保護者の方や友達同士で挨拶を交わす子どもの姿を求めて、これからも取り組んでいきたいと思います。

・③『人を大切にする』では、保護者の方も教職員も実現度は90%を超えていました。また、④『協力したり仲良くしたりする』では、児童の項目の中で実現度が一番高い結果となっています。学習や活動等の設定された場面で、協力したり仲良くしたりする経験を積み重ね、普段の子どもたちの行動につなげていきたいと思います。そして、一人ひとりが大切にされる学級づくりを目指します。

・⑤『学校や社会のルールを守る』では、児童と保護者の実現度が高いのですが、教職員の実現度は低い結果となっています。ご家庭におかれましては、子どもたち心の育成にご協力ご支援を頂いている結果とありがたく受け止めております。学校でも、人を大切にすることについて、折に触れ、機会を捉え、話をしていくところです。子どもたちは、理解していても実際の行動が伴わず、自分勝手な思いであったり、周りの状況を想像できなかったりすることもあると思います。学校での子どもたちの様子を伝え、ご家庭の協力を得ながら、子どもたちが自分の行動をしっかり考えることができるよう、時間をかけて取り組んでいきたいと思います。きまりを守り、みんなが気持ちよく過ごせる学校づくりを目指します。

・⑨『先生の話をしっかり聞く』では、教職員・児童とも実現度が低い結果となっています。また、⑫『学習内容を理解し学習が楽しい』では、児童の実現度が低い結果となっています。今年度は、算数科を通して自らの考えを表現できる子どもの育成に向けて取組を進めております。学習内容の理解をより深められるよう授業改善に努め、能動的に学ぶことのできる学習活動の工夫に取り組んでいきます。

・⑭『保護者の方が担任に質問や相談を』では、保護者の方が相談しにくい感じられていることがあるのではないかと思われます。⑦『子どもが担任に質問や相談を』では、高学年になるにつれ、友だちに相談することが増えてくることがあります、教職員が子どもたちにしっかりと目を向け、子どもや保護者の方が気軽に相談できる学校であるよう努めていきたいと思います。

・⑥「みんなが使う物・身の回りの片づけ」⑭「読書すること」では、保護者の方の実現度が低い結果となっていますが、教職員の結果では80%を超えており、学校では読書をしているようです。ご家庭での環境づくりにご協力いただき、学校では読書への取組について工夫し進めていきたいと思います。

## 〈学校関係者評価〉

学校運営協議会の理事様からご意見をいただきました。

- ・児童アンケートと保護者・教職員アンケートの「よくできている」の割合にかなりの差がみられるが、「よくできている」「大体できている」を合わせるとその差は縮まっている。その理由として、大人と子どもの到達度に違いがあるように感じられる。子どもたちが自分のしていることに対してポジティブに評価していることは、成長過程において大切なことではないか。大人たちの到達度をクリアできるようになるために、学校生活や登下校時以外の日常生活の中で、もっと積極的に声かけや注意をしていくことが必要だと思う。
- ・「家で学校の様子を話す」「読書する」「困ったこと・分からぬことがあれば子どもが先生に相談する」の保護者の実現度が低いことから家と学校とは別のものと考えている子どもがいるのではないかだろうか。これらを改善するために家庭と学校とのつながりを強くし、そのことを子どもが感じることが重要でないかと思う。どこまで心をオープンにしているのか。コミュニケーションが取れているかが大切だと思う。
- ・「先生の話をしっかり聞く」の結果が三者でかなり違いが見られる。本当にしっかり聞けているのか、確認していくことが必要だと思う。
- ・「話をしっかり聞く」ことは、「人を大切にすること」にもつながることだと考えるので、聞いているつもりでなく、しっかりと聞いていくようにしていきたい。
- ・「ルールを守る」子どもが90%以上いるが、地域や公共の場で守れない子どもが多いのではないか。大人が色々な場面で見守り育てることが必要であろう。
- ・子どもたちの学校での様子が伝わりにくいのではないか。保護者と連携を取りながら子どもたちを見守っていきたい。
- ・重要度の高い項目で実現度の低い項目がある。保護者の期待が大きいととらえ、取り組んでいってほしい。
- ・学校が楽しいと思っていない子どもがいることを保護者も教職員もしっかり見てケアをしていく必要がある。
- ・学習を理解できていない児童にどのように対応していくかが課題である。

## 〈保護者アンケートの記述欄(子どもの健やかな成長に向けてご家庭で大切にされていること)より〉

同じようなご意見は、まとめさせていただいています。ご了解いただきますようお願いいたします。

- ・人がされて嫌なことは人にもしない。
- ・自分が嫌なことをされても他人には同じことをしないよう、相手の気持ちになって行動するよう伝えている。
- ・人の悪口は言わない。・嘘をつかない。
- ・自分を大切にすること。自分を大切にできないと他人も大切にできない。自分のことも友達のことも大切に。
- ・人に対して思いやりの気持ちを忘れず、相手の立場や気持ちになって考えられるようにしていくことを大切にしている。相手を思いやる気持ちをもつ。
- ・友達と仲良く元気に過ごすこと。・友達をたくさん作り、たくさん遊ぶ。
- ・弟妹他人への思いやり。・感謝する気持ちをもつように。
- ・バランスのとれた精神。社会への適応性。
- ・時間、ルールを守る。
- ・いつも笑顔を忘れずに。・一日の終わりを笑顔で過ごすこと。
- ・よく寝て・よく食べ・よく遊ぶ。・早寝・早起き。
- ・学校、地域行事に親も参加する。
- ・毎日の家庭学習の習慣を付けること。
- ・赤ちゃんの頃から毎日読み聞かせを続けている。・読書の習慣を身に付ける。・親が進んで読書する。
- ・時間がかかる自分ことは自分で。自分で考えてできるように。できないこともあきらめさせない。

- ・家の決まり事をしっかり守り、家族でよく話し合い、教育目標を考え進めている。
- ・宿題と自分がやりたいといった習い事にはやり遂げる約束をしている。
- ・やるべきことを最後までやり切ること。
- ・自分のしたいこと・やりたいことに一生懸命に取り組むように。
- ・良いことも悪いこともいろいろ経験させるように心がけている。
- ・良いこと・悪いことの区別をつける。・けじめ・めりはりをつける。
- ・自分の思いをうまく伝えられるように。周りに流されることなく意見できるように。
- ・人の話をしっかり聞く。
- ・挨拶ができるようになってほしいので親が手本を見せるようにしている。
- ・挨拶を大切にしている。父親には、仕事中や夜など携帯でも伝えるようにしている。
- ・家族同士でもいろいろな場面で挨拶を交わし、挨拶の大切さを感じ取れるようにしている。
- ・「ありがとう」の感謝の言葉を大切に。・「ありがとう」「ごめんなさい」が言えるように。
- ・言葉づかいに気を付ける。悪い言葉づかいをしない。
- ・会話やスキンシップで安心できる環境を。何でも言えるような家庭にする。何でも話せる親子関係を。
- ・子どももときどき向き合う時間をつくる。・子どもとたくさん会話する。コミュニケーションを取る。
- ・嬉しいこと・楽しいこと・悔しいこと・嫌なこと子どもが何でも話せる環境を。
- ・話したがらない場合も聞くようにする。・肯定も否定もしないで、とにかく話を聞く。
- ・良いことも悪いことも自分の心にためないように言っている。
- ・学校での出来事を日々の会話の中で、必ず話を聞き、しっかり話し合うようにしている。
- ・話したいと思う気持ちを大切に。色々なことを話せる時間を大切にしている。
- ・夕食時に今日の出来事を話す。嫌なことをなくすために、どのようなことをすればよいか本人と一緒に考えている。
- ・目を見て話を最後まで聞いてあげている。よく耳を傾けるようにしている。
- ・子どもに考えさせるようにする。・子どもの味方であること。否定しない。
- ・叱ることがあれば叱る。誉めることができれば誉める。頑張れたらとにかく誉める。
- ・悪いことも本人の納得がいくまで話し合う。
- ・困ったこと・悩んでいることがあれば何でも親や先生に言うように言っている。
- ・子どもの成長に合わせ、その都度、人の気持ちや接し方について話している。
- ・子どもも同じように怒ったり同意したりアドバイスしたりする。世の中の事件やニュースも一人の人間として話をしてやる。・一人の人間として接すること。
- ・何事にも興味をもてるような言葉かけをする。
- ・次第に自分に起こった出来事を話さなくなってきたのでサインを見逃さないようにしている。自分で考えて解決できることはそうしてほしいので、見守っている・なるべく細かく口出しそれぞれ見守る。
- ・自分が子どもの時、どうして解決したかを話す。
- ・自己肯定感をもてるよう、肯定的な対応や言葉かけをし、子どもの問いかけや話には耳を傾ける。
- ・宿題や時間割の確認を通して、どんな勉強をしているか見ている。
- ・食事や勉強など一緒に机に座る。一緒に読書をしたり宿題を見たりする。
- ・一緒にできることに取り組む。家族そろって一緒にする・できるだけ家族そろって食事をするようにしている。
- ・愛していることを伝えること。あなたが大切だと伝えること。・寝る前に「おやすみ」「大好き」と伝えている。

これからも保護者や地域の皆様と協力・連携し、桃山東小学校の教育活動を進めています。保護者の皆様には、お忙しい中、ご協力をいただき、ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。 (学校HPにアンケート結果のデータを載せています。)